



木曽中学校だより

2025年度－7月号－

令和7年7月1日発行
町田市立木曽中学校
校長 大山 茂登

Tel. (042) 792-3081
Fax. (042) 791-5984

夏に向けての準備の時

校長 大山 茂登

梅雨入り間もなく、天気図からは梅雨前線の姿が見えなくなり、例年よりも暑さを感じる日が増えています。7月に入ると、さらに暑さが厳しくなるとの予報も出ており、健康管理や安全面に一層の注意が必要です。こまめな水分補給や適度な休憩、日差しを避ける工夫を心がけ、熱中症予防に努めながらの学校生活を続けていきましょう。

7月は「文月（ふみづき）」とも呼ばれます。「文月」の由来には諸説ありますが、一説には、平安時代に宮中で和歌や詩を詠む行事が盛んだったことから、「文（ふみ）」の月と呼ばれるようになったとも言われています。夏の盛りを迎え、暑さが厳しくなる一方で、自然の美しさや季節の移り変わりを感じることができる時期です。七夕や土用の丑の日など、さまざまな行事や風物詩も楽しめる季節です。夏の風物詩や伝統行事に触れながら、季節の移り変わりを楽しむとともに、健康管理にも気をつけてこの季節を過ごしていきたいものです。

さて、早いもので今学期も残り3週間となりました。先週で定期考査も終了し、解答用紙の返却も始まっています。学習の振り返りはもちろんですが、学校生活全体を振り返る良い機会を迎えています。この1学期を振り返ると、生徒総会や体育祭などの行事、委員会活動や部活動、クラスでの取り組みなど、多くの経験を積んできたことと思います。4月からの3か月間で、自分自身がどれだけ成長したかを振り返ってみて欲しいと思います。何も変わっていないと感じることもあるかもしれませんが、必ず何かしらの進歩や変化はあります。できるようになったことや理解が深まったことを見つけて、自分の成長を実感してください。自分を認めることは、とても大切です。反省や振り返りを行うと、ついできなかったことに目が向きがちですが、まずはできたことや進歩した点に目を向けてください。自分のやってきたことをしっかりと認めることで、自信が生まれ、次の努力への原動力となります。

その上で、夏休みを迎える前に、今後何をすべきかを考え、具体的な目標や計画を立てることが重要です。例えば、「英文法の問題集を夏休み中に1冊仕上げる」「歴史の年表ノートを作成する」「毎日30分の復習を続ける」「苦手な教科の問題を週に3回解く」など、具体的な行動を決めておくといいでしょう。夏休みを充実させるためには、計画的に取り組むことが成功の鍵です。

特に3年生にとっては、卒業後の進路選択に向けて準備を進める絶好の機会でもあります。学習面だけでなく、進学先の説明会や体験授業に積極的に参加してください。第一志望だけでなく、さまざまな進路について情報を集めておくことは、進路決定の際に大いに役立ちます。

夏休みの機会を大切に過ごすために、1学期の終わりのこの時期を丁寧に過ごしてほしいと思います。

今学期も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。保護者や地域の皆さまのご支援のおかげで、充実した教育活動を展開できていると感じております。木曽中学校の活動をより豊かにしていくために、何かご意見やご質問がありましたら、遠慮なくお知らせください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

金メダリスト 谷本歩実さんが来校！学びと笑顔があふれた特別な一日

6月20日、柔道金メダリストの谷本歩実さんが本校に来校され、「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として講話と体験活動をしてくださいました。前半の講話では、「金メダルを取るまで」のお話をはじめ、

- ・金メダルを目指すには“取る覚悟”と“取れなかったときの覚悟”が必要なこと
- ・心の矢印を自分に向け、自分を信じることの大切さ
- ・感謝の気持ちが成功を引き寄せる力になること

など、心に残るメッセージをたくさんいただきました。

後半は、生徒と谷本さんが一緒に運動！瞬発力を鍛える運動で体を動かしながら、楽しくウォーミングアップ。その後は、パラリンピックの柔道の体験や、谷本さんとの**柔道“真剣勝負”**が行われました。

応援席からは声援が飛び交い、審判やアナウンサー役など、子どもたちはそれぞれに役割を担いながら全員が主役となっていました。勝者にはヒーローインタビューまで行われ、まるで本当の大会のような盛り上がりでした。

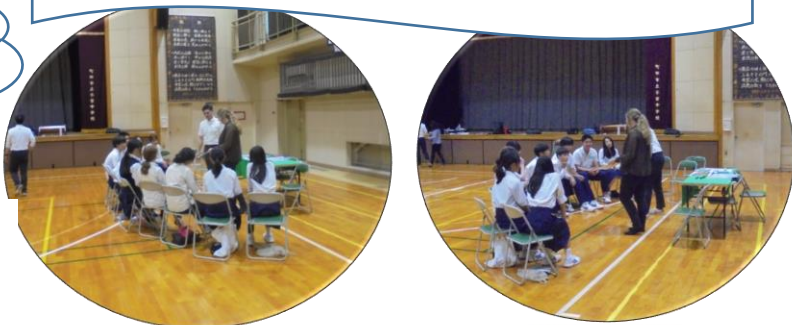
「誰にでも役割がある」「失敗しても一人にしない」「仲間と支え合う」——。谷本さんからの学びは、子どもたちの心にしっかりと根を下ろしたようです。



イングリッシュフェスタ！

6月11日水曜日に行われた「イングリッシュフェスタ」に、本校では2学年の生徒が参加しました。英語によるディスカッションや英語を使ったゲームに、日頃の学習の成果を込めて堂々と臨みました。最後の「オリジナル行事の発表」では「とても緊張したけれど、伝える楽しさを感じました」と笑顔を見せる姿も。英語を「使う」経験が、生徒たちの大きな自信につながった貴重な機会となりました。

ドキドキからワクワクへ！英語で伝える楽しさ！！



6月の部活動

- ◎ 女子バスケットボール部
バスケットボール選手権大会 第三位！！
- ◎ 女子ソフトテニス部
町田市夏季選手権大会 団体戦第三位！！